

東洋大ボクシング部・三浦監督に聞く／BOX

2016.4.27 13:42

ロンドン五輪にて、日本人として48年ぶりにボクシング競技で金メダルを獲得した村田諒太(帝拳ジム所属)。最もロンドン五輪で名前の売れたアスリートの一人だ。その村田諒太が大学時代、関東大学ボクシングリーグ戦で所属したのが東洋大学だ。東洋大は2000年に2部リーグ優勝、1部リーグ昇格した、1部リーグ校の中では比較的歴史の浅い大学だ。そんなフレッシュな東洋大ボクシング部を指揮するのは、現WBC世界バンタム級チャンピオン「神の左」山中慎介が専修大学に入学したばかりの1年生時に、関東大学ボクシングリーグ2部リーグ戦で勝利した、当時の東洋大学ボクシング部4年生で主将だった三浦数馬監督だ。5月14日(土)に開幕する関東大学ボクシングリーグ戦を前に、三浦監督に話を聞いた。(岩崎仁)

——今年の目標は

今年で監督就任3年目だが、就任1年目は1部リーグ4位、2年目は3位と順位が上がっている。今年はさらに順位を上げて優勝を目指す。油断するとすぐに他校に食われてしまい、勢いに乗れないと最下位になってしまう。それほど1部リーグ6校の力は拮抗していて、全校、優勝の可能性がある。

——チームの雰囲気は

常に指導しているのは、部員全員で声を出し、練習することだ。練習が終われば、先輩・後輩関係なく冗談を言い合うほど仲が良く、雰囲気は良い。

——今年のチームのキーマンは

主将で全日本ライト級ランキング1位の秋山佑汰と齋藤奨司、ライト級の4年生2人だ。リーグ戦にライト級は2名出場するので、彼らには全勝してもらいたい。昨シーズン、秋山は5戦全勝、齋藤は4勝1敗で、その1敗も昨シーズンバンタム級の全日本王者だった藤田健児(拓大)を相手にしての1敗だ。

また、リーグ戦の特徴として前半にポイントを取って勢いに乗れるかどうかがかぎとなるため、軽量級のライトフライ級、フライ級を強化している。

——練習メニューや部員の日常生活は

全部員は、板橋にある2011年に完成した東洋大学総合スポーツセンター内に併設された寮で生活している。毎日、朝の6時半から1時間程度ロードワークを行う。日によって長距離や短距離ダッシュとメニューが変わる。その後、寮の食堂で食事をして、大学で勉強する。ジムワークは2時間程度で、15時からの部と19時からの部があり、授業の終了時間により参加できる時間のどちらかの練習に参加している。ちょうど部員は半分に分かれている感じだ。ジムワーク後に各自トレーニングルームで補強を行う。

特徴的なのは、3月に行う10日程度の沖縄合宿と、9月に行う1週間程度の青森合宿だ。寒い時期に暖かい地域に、暑い時期に涼しい地域に行き、ロードワーク中心の合宿を行う。ロードワークが基本中の基本だと思っている。

もちろん、ボクシング部員だからといって、ボクシングだけすれば良いというわけではなく、他の大学生と一緒にきちんと大学の授業に出席し、勉強して卒業してほしい。部員には、「一般学生と友達になりなさい」と言っている。将来役立つ人脈を作ってほしい。

——高校生のスカウト活動について

全国大会、地方大会を見て私とスカウト担当で決める。全国大会上位の選手だけではなく、大学で伸びそうな選手を見つけるようにしている。代表例としては、ロンドンオリンピック・フライ級代表の須佐勝明だ。彼は高校時代、インターハイベスト8だったが、大学で全日本王者、卒業後、オリンピックに出場した。プロボクシングの元OPBF東洋太平洋スーパーライト級王座、小原佳太も高校時代はインターハイベスト4、大学で国体王者となった。

具志堅用高を育てた金城真吉総監督がいるため、沖縄の高校や村田諒太の母校、南京都高等学校(現京都廣学館高等学校)出身者が多かったが、最近は全国から学生が集まっている。特に、広島や九州エリアの学校出身者が比較的多い。

——コーチ陣等の指導体制は

監督の私と田中智博コーチの2名体制で指導している。

——学生時代にボクシングに取り組む学生に対して

ボクシングをやるからには、強くなってほしい。強くなるためには、学費を払って大学に送り出してくれた両親や、高校まで指導してくれた地域の指導者、周囲の人たちに感謝しなければならない。当然、勉強とボクシング両立し、卒業すべきだ。

おそらく、日本一の設備である東洋大学にも、この環境を用意してくれたことに感謝し、恩返しとして勉強とボクシングともに良い成績を収めること。社会人であれば給料をもらう代わりに、それ以上に会社に貢献することと一緒にある。

——監督にとっての関東大学ボクシングリーグ戦とは

仲間とともに大学の看板を背負って戦う真剣勝負。今まで経験した中で、これ以上感動する場所はなかった。

東洋大学ボクシング部

1961年創部。関東大学ボクシングリーグ戦 1部リーグ準優勝2回。ロンドンオリンピック代表、村田諒太、須佐勝明がOB

三浦数馬監督

1979年7月18日生まれ。青森県出身。弘前実業高等学校出身。東洋大学が初めて1部リーグ昇格を決めたときの主将